

東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）

令和8年度科目等履修生出願可能科目表

科目等履修生希望の方は、以下の注意事項を必ず読んでください。

- 本学修士課程「次世代日本型教育システム研究開発専攻」及び「教育支援協働実践開発専攻」で開設している授業科目のうち、科目等履修生を受け入れている科目を「科目等履修生出願可能科目表」に掲載しています。掲載のない科目は出願できません。
- 「科目等履修生出願可能科目表」は、毎年度更新されます。また、科目開講学期、開講曜日・時限、担当教員等は年度途中で変更となる場合がありますので、出願前にもう一度内容をご確認のうえ、出願をしてください。
- 免許法上の対応について
2019年度新設の「次世代日本型教育システム研究開発専攻」及び「教育支援協働実践開発専攻」は、文部科学省から教職課程認定を受けていないため、科目等履修生として修得した単位を、専修免許の取得申請の際に使用することはできません。
- 授業時間について

第1時限	8:30~10:10
第2時限	10:20~12:00
第3時限	12:50~14:30
第4時限	14:40~16:20
第5時限	16:30~18:10
第6時限	18:20~20:00
第7時限	20:10~21:50

教育学研究科(修士課程)令和8年度科目等履修生出願可能科目表

専攻基盤科目

科目区分	授業科目名(日本語表記)	単位	担当教員	講義概要	開設学期		曜日・時限		開講情報			授業コード
					春期	秋期	1～5限	6～7限	隔年情報	集中方式	その他	
専攻基盤	次世代日本型教育と国際社会	2	○水津嘉克、下田誠、若林恵、出口雅敏、橋村修	アジアやヨーロッパなど諸外国の教育と社会をめぐる諸問題について考察・議論する。		○		水6			AL1教室	16110030

専攻基礎科目

科目区分	授業科目名(日本語表記)	単位	担当教員	講義概要	開設学期		曜日・時限		開講情報			授業コード
					春期	秋期	1～5限	6～7限	隔年情報	集中方式	その他	
専攻基礎	教育ネットワーク論	2	近藤弘幸	教育支援のネットワークによって営まれる学校教育のあり方について課題を設定し、グループワークを中心として、さまざまな視点から考究する。		○		木6			AL4教室	16420010

専攻展開科目

科目区分	授業科目名(日本語表記)	単位	担当教員	講義概要	開設学期		曜日・時限		開講情報			授業コード
					春期	秋期	1～5限	6～7限	隔年情報	集中方式	その他	
専攻展開	地域文化(日本)	2	水津嘉克	論文を書くうえで必要な、調査の考え方・手法について学習し、実際の調査のための「知識」を身につける。		○	木3					16130370
専攻展開	地域文化(アジア)	2	下田誠	中国古代史の基本問題を取り上げる文献を講読し、基本的な方法論を身につける。		○	月2				西2号館2階 第3会議室	16130130
専攻展開	地域文化(ヨーロッパ)	2	若林恵	ドイツ語圏の文学作品や文献を用いて、人間形成や教育について考察・議論する。		○	金4					16130160
専攻展開	異文化間交流(移民・難民)	2	加賀美雅弘	都市に暮らす移民・難民・外国人の居住地区の景観に着目して、共生について考察する。		○	木4					16130190
専攻展開	異文化間交流(文化概念)	2	小西公大	文化概念の発生と現代的用法を通じて本質主義と構築主義のせめぎ合うポリティクスとしての文化的現象を捉える。		○	月6					16130200
専攻展開	異文化間交流(文化芸術)	2	有澤知乃	民族音楽学の研究課題と方法を文献購読や映像資料の分析を通して学ぶ。広く世界の様々な音楽文化を扱う。		○	火2					16130380
専攻展開	異文化間交流(文化人類学)	2	出口雅敏	文化人類学、文化研究の専門論文やエスノグラフィを精読しながら、グローバル化時代の文化研究の理論と方法を習得する。		○	木3				中央6号館3階 欧米研究演習室	16130210
専攻展開	異文化間交流(異文化理解)	2	橋村修	比較民俗学、地誌学、歴史地理学的視点に立った異文化理解の方法について、民俗や農業漁業の技術伝承の比較を事例に考察する。		○	水3					16130220
専攻展開	日本語教育II A	2	岡智之	本授業では、日本語の論理に基づく日本語法の体系化を目指して、「場の言語学」を学び、その記述と応用可能性について考えていく。もって、日本から発出する日本語の論理に従った文法とその教育を世界に提案していく。		○	金4					16130310
専攻展開	日本語教育II B	2	許夏玲	対照言語研究を含め、日本の談話研究における視点を見る。本授業では、理論と実践の両方を重視し、先行研究の事例をもとにディスカッションを行うほか、会話データの文字化を練習するなど、談話研究への認識を深めていく。		○	水2				中央4号館 N305教室	16130320
専攻展開	日本語教育II C	2	小西円	日本語学習者の産出する言語や日本語教育の教材の分析を通して、教材開発の力を養う。また、言語能力・コミュニケーション能力について考える。		○	木2				中央4号館 N202教室	16130330

科目区分	授業科目名（日本語表記）	単位	担当教員	講義概要	開設学期		曜日・時限		開講情報		授業コード	
					春期	秋期	1～5 限	6～7 限	隔年 情報	集中 方式		その他
専攻展開（情報AI領域）	知的ソフトウェアシステム論	2	樋山淳雄	人工知能技術を用いたソフトウェアシステムについて、人工知能技術をどのようにシステムの設計・開発に用いているのかを学ぶ。		○	火2				中央1号館1階 情報演習室 N106	16230040
専攻展開（情報AI領域）	人間情報学論	2	加藤直樹	人間情報学のうち特にHuman Computer Interactionを取り上げ、AI等のICTを適用する教育情報システムとの関係について学ぶ。		○	火4				中央5号館3階 新たな学びの部屋	16230050
専攻展開（コンピテンシー・学校心理領域）	ヒューマン・コンピテンシー各論（発達）A	2	榑原知美	21世紀を生きる子どもたちに必要なコンピテンシーのうち、数量概念の発達など認知の発達と文化に関わるものを中心に学ぶ。		○	水3					16231050
専攻展開（コンピテンシー・学校心理領域）	ヒューマン・コンピテンシー各論（認知）	2	○犬塚美輪、関口貴裕	科学技術・情報技術が進化し続ける社会に必要なコンピテンシーについて、認知スキル、学習スキル等を中心に、心理学を基礎として学ぶ。		○	月2					16231070
専攻展開（コンピテンシー・学校心理領域）	ヒューマン・コンピテンシー各論（社会）A	2	杉森伸吉	AI時代を生きる子どもたちに育成すべきコンピテンシー（実質的な資質・能力）のうち、集団心理学に関するコンピテンシーについて学ぶ。		○	木4					16231080
専攻展開（コンピテンシー・学校心理領域）	ヒューマン・コンピテンシー各論（社会）B	2	品田瑞穂	AI時代を生きる子どもたちに育成すべきコンピテンシー（実質的な資質・能力）のうち、対人関係に関するコンピテンシーについて、社会心理学を基礎として学ぶ。		○	月3					16231090
専攻展開（コンピテンシー・学校心理領域）	アントレプレナーシップ論	2	小宮山利恵子	イノベーションがどのように創出されるか、またそれに欠かせない起業家精神とは何かについて基礎を学ぶ。		○	水2				中央2号館 S407教室	16231110
専攻展開（教育内容・実践領域）	文化社会系先導的教育応用実践論（言語）	2	白勢彩子	日本語の音声言語を、方言や他言語を比較しつつ学ぶことを通じて、言語の規則性や特質を理解する。また、これらの学びを踏まえて言語教育における音声言語の扱い、実践について考える。		○	水3				研究室	16232010
専攻展開（教育内容・実践領域）	身体系先導的教育応用実践論（医学）	2	齋藤従道	医学および運動処方領域の基礎とAIとの接点を学ぶ。		○	木3					16232150
専攻展開（教育内容・実践領域）	身体系先導的教育応用実践論（心理）	2	奥村基生	体育・スポーツ心理学における基本的な理論を学ぶ。		○	金1				研究室または 東3号館1階演習室	16232050
専攻展開（臨床・発達心理学領域）	発達障害臨床心理学演習	2	池田一成	発達臨床の実践を基礎づける発達障害学や発達神経科学の知識について、講義と演習形式を通して学ぶ。		○	火3				東5号館1階 教材開発研修室	16330090
専攻展開（臨床・発達心理学領域）	臨床生理心理学特論	2	池田一成	生理指標を用いた心理学的アセスメントの方法について全般的知識と技能を学ぶ。		○	火4				東5号館1階 教材開発研修室	16330150
専攻展開（教育臨床領域）	学校臨床・支援システム特論	2	橋本創一	通常学級に在籍する特別な教育的ニーズのある幼児児童生徒の教育支援・発達支援・学校カウンセリングなどの現代的課題について臨床心理学・教育臨床学から講義する。		○	月5					16331110

科目区分	授業科目名（日本語表記）	単位	担当教員	講義概要	開設学期		曜日・時限		開講情報			授業コード
					春期	秋期	1～5限	6～7限	隔年情報	集中方式	その他	
専攻展開（教育環境領域）	学校教育－ソーシャルワーク協働論F	2	梅山佐和	学校教育－ソーシャルワーク協働論Eの内容をふまえて、スクールソーシャルワークの視点から、子ども家庭を支える多機関が協働するための実践的な理論と方法について学ぶ－徹底的プランニング－		○	火4				春学期の学校教育－ソーシャルワーク協働論Eの内容を理解していることを前提に展開する。	16430140
専攻展開（地域創生領域）	コミュニティ形成と生涯学習A	2	君塚仁彦	コミュニティ形成における生涯学習の役割について、地域と連携し協働するフィールドミュージアムや博物館・美術館など活動の事例を中心に論じ、考察を深める。		○	木5				中央7号館4階 社会教育実験室	16431010
専攻展開（地域創生領域）	コミュニティ形成と生涯学習B	2	倉持伸江	学び合うコミュニティの形成とその支援のあり方について、特にファシリテーターやコーディネーターの役割を求められる支援者の力量形成について、省察的実践論などを基盤に理論的・実践的に検討する。		○	火6					16431020
専攻展開（地域創生領域）	コミュニティ形成と生涯学習E	2	大森直樹	地域教育と人権教育について先行研究や教育実践記録にもとづき認識をふかめる。		○	火4				東5号館 防災学習室	16431050
専攻展開（地域創生領域）	コミュニティ形成と文化遺産教育A	2	日高慎	考古学・文化遺産に関わる研究成果をどのように地域社会の中で生かしていくことができるか、その方法を検討する。		○	木5					16431060
専攻展開（地域創生領域）	コミュニティ形成と文化遺産教育B	2	新免歳靖	地域の中にある多様な文化資源を見つけ出し、活用する調査・研究方法について検討する。		○	火3					16431070
専攻展開（地域創生領域）	地域共生社会論B	2	岡田哲郎	地域の歴史・条件に即した共生社会の実現に寄与するコミュニティワーク、地域アセスメントの方法について学び、考察する。		○	水3					16431100
専攻展開（地域創生領域）	地域共生社会論C	2	角田恵子	政策課題として「地域共生社会」が提起された背景を学び、地域で暮らす知的障害者の生活支援について考える。		○	木3					16431110
専攻展開（地域創生領域）	地域共生社会論D	2	露木信介	チーム医療とチーム学校との連携協働、統合や、地域を基盤とした包括的支援体制の構築に必要なソーシャルワーク実践理論について考察する。		○	火4					16431120
専攻展開（地域創生領域）	コミュニティスポーツ推進論A	2	久保田浩史	地域におけるスポーツ活動・イベントについて、実情を学び、その支援について考える。		○	金1					16431140
専攻展開（地域創生領域）	コミュニティスポーツ推進論B	2	森山進一郎	地域でのスポーツ活動の推進について、事例や具体的な方法について検討し、考察する。		○	水1					16431150
専攻展開（地域創生領域）	コミュニティ形成と言語・文化学習支援論	2	范文玲	外国にルーツを持つ子供たちのための、言語・文化学習面でコミュニティ形成・支援を検討する。		○	火2				中央6号館1階 アジア研究演習室	16431160
専攻展開（地域創生領域）	コミュニティ形成と演劇・映像D	2	花家彩子	演劇を中心としたパフォーマンスアートと教育活動の関係について、文献の講読をとおして学んでいく。		○	月2					16431210
専攻展開（教育法規・行財政領域）	教育制度論B	2	前原健二	学校教育及び学校外の教育に関わる政策形成と制度構築について文献購読を通じて学ぶ。		○	火3				西2号館2階 第3会議室	16432020
専攻展開（教育法規・行財政領域）	教育制度論D	2	岩田康之	学校教育と教師に関わる制度的・政策的な改革動向について、事例を基に具体的な検討を加え、構造的な理解を深める。		○	火5				西2号館2階 第3会議室	16432040
専攻展開（教育法規・行財政領域）	教育法規・財政論B	2	○大塚千尋、依能太郎	学校教育に関する判例、学校法務について講義、演習、討議を通じて、行政運営に必要な危機管理能力、法的実務能力を総合的に身につける。		○		水6			中央7号館5階 教育学総合実験室	16432060
専攻展開（教育法規・行財政領域）	教育経営論B	2	末松裕基	教育経営の国際的動向について、社会・政治的背景も踏まえて理論的検討を行う。		○	水3					16432080